

平成26年第2回
美唄市議会臨時会会議録
平成26年8月18日（月曜日）
午前10時00分 開会

経 済 部 長	須 田 正 毅 君
都市整備部長	本 田 弘 明 君
消 防 長	後 藤 樹 人 君
総務部総務課長	佐 藤 崇 君
総務部総務課主査	置 田 孝 浩 君

◎議事日程

- 第1 会議録署名議員の指名
- 第2 会期決定の件
- 第3 諸般報告
- 第4 議長報告
- 第5 議案第42号 平成26年度美唄市一般会計補正予算（第2号）

教育委員会委員長職務代理者	森 田 みちえ 君
教 育 長	早 瀬 公 平 君
教 育 部 長	伊 藤 敦 史 君

◎事務局職員出席者

事 務 局 長	中 平 匡 司 君
次 長	三 上 忠 君

◎出席議員（14名）

議 長	内馬場 克 康 君
副議長	五十嵐 聡 君
1 番	倉 本 賢 君
2 番	長谷川 吉 春 君
3 番	谷 村 知 重 君
4 番	丸 山 文 靖 君
5 番	本 郷 幸 治 君
6 番	森 川 明 君
7 番	吉 岡 文 子 君
8 番	桜 井 龍 雄 君
9 番	金 子 義 彦 君
10 番	高 田 正 則 君
12 番	小 関 勝 教 君
13 番	土 井 敏 興 君

◎出席説明員

市 長	高 橋 幹 夫 君
副 市 長	藤 井 英 昭 君
総 務 部 長	市 川 厚 記 君
保健福祉部長兼福祉事務所長	山 崎 一 広 君

午前10時00分 開会

●議長内馬場克康君 ただいまより、本日をもって招集されました、平成26年第2回美唄市議会臨時会を開会いたします。

●議長内馬場克康君 これより、本日の会議を開きます。

この場合、説明員の代理出席について、次のとおり通知がありましたので報告いたします。

教育委員会委員長高橋泰浄君は都合により欠席いたしますので、委員長職務代理者森田みちえ君が代理出席いたします。

●議長内馬場克康君 日程の第1、会議録署名議員を指名いたします。

5 番 本郷幸治議員

6 番 森川明議員

を指名いたします。

●議長内馬場克康君 次に日程の第2、会期決定の件を議題といたします。

お諮りいたします。

本臨時会の会期は、本日1日といたしたいと思いをします。

これにご異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

ご異議ありませんので、そのように決定いたしました。

●議長内馬場克康君 次に日程の第3、諸般報告に入ります。

諸般報告については、朗読を省略いたします。

諸般報告についてご質疑ありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

これをもって諸般報告を終わります。

●議長内馬場克康君 次に日程の第4、議長報告に入ります。

議長報告についても朗読を省略いたします。

議長報告についてご質疑ありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

これをもって議長報告を終わります。

●議長内馬場克康君 次に日程の第5、議案第42号平成26年度美唄市一般会計補正予算(第2号)を議題といたします。

本件に関し、提案理由の説明を求めます。
市長。

●市長高橋幹夫君(登壇) ただいま上程されました、議案第42号平成26年度美唄市一般会計補正予算(第2号)について提案理由

をご説明申し上げます。

本件は、第1条歳入歳出予算、第2条地方債について補正しようとするものであります。第1条、歳入歳出予算の補正につきましては、歳入歳出予算の総額にそれぞれ2,897万1,000円を増額補正し、補正後の予算総額を170億5,279万5,000円にしようとするものであります。補正内容は、歳出では、平成25年度の国の経済対策として創設された「がんばる地域交付金」を活用し、総務費、商工費及び土木費に当初予算として計上している庁舎整備事業、交流拠点施設整備事業、道路新設改良事業及び都市計画街路整備事業の一般財源について、市債から道交付金に組み替えを行うほか、民生費には、保育施設の再編に伴い、北海道中央コンピュータ・カレッジを保育に適した施設として利活用するため、保育施設整備事業を、また、消防費には、通信司令室に設置している冷房施設の更新を行う消防施設整備事業を、教育費には、中央小学校の屋外器具庫の屋根等の改修を行う小学校維持修繕事業を計上いたしました。労働費には、緊急雇用対策として、来年4月を目処に美唄ハイテクセンター内においてコールセンター事業を計画している企業の誘致に向け、緊急雇用創出事業を活用し、コールセンター事業に必要なオペレーター養成の実践的事業を実施し、雇用の創出を図るコールセンターオペレーター実戦力養成事業を計上いたしました。歳入には対応する財源として、国庫支出金・道支出金・繰越金をそれぞれ計上するほか、市債の減額変更を行いました。

第2条地方債の補正につきましては、当初

予算に計上している庁舎整備事業、交流拠点施設整備事業、道路新設改良事業及び都市計画街路整備事業の財源について、がんばる地域交付金を充当するため、庁舎整備債、交流施設整備債及び道路橋りょう整備債の減額変更を行うものであります。

よろしくご審議をお願いいたします。

●議長内馬場克康君 お諮りいたします。

ただいま提案理由の説明がありました、議案第 42 号については、大綱質疑にとどめ、後ほど設置いたします特別委員会に付託の上、審査することにいたしたいと思います。

これにご異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

ご異議ありませんので、そのように決定いたしました。

これより議案第 42 号について大綱質疑を行います。

(「なし」と呼ぶ者あり)

これをもって大綱質疑を終結いたします。
お諮りいたします。

議案第 42 号については、13 人の委員をもって構成する予算審査特別委員会を設置し、これに付託の上審査することにいたしたいと思います。

これにご異議がありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

ご異議ありませんのでそのように決定いたしました。

ただいま設置されました予算審査特別委員会委員の選任については、委員会条例第 8 条第 1 項の規定により、

倉本賢議員、長谷川吉春議員、
谷村知重議員、丸山文靖議員、

本郷幸治議員、森川明議員、
吉岡文子議員、桜井龍雄議員、
金子義彦議員、高田正則議員、
五十嵐聡議員、小関勝教議員、
土井敏興議員の以上 13 人の議員を指名いたします。

この際、予算審査特別委員会を開催のため、午後 3 時ごろまで休憩いたします。

午前 10 時 06 分休憩

午後 3 時 35 分開議

●議長内馬場克康君 休憩前に引き続き、会議を開きます。

お諮りいたします。

この際、予算審査特別委員会に付託されていきました、議案第 42 号、平成 26 年度美唄市一般会計補正予算第 2 号について、委員長報告を日程に追加いたしたいと思います。

これにご異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

ご異議なしと認めます。

よって委員長報告を日程に追加することに決定いたしました。

これより、委員長報告に入ります。

議案第 42 号平成 26 年度美唄市一般会計補正予算(第 2 号)を議題といたします。

本件について委員長の報告を求めます。

五十嵐予算審査特別委員長。

●予算審査特別委員長五十嵐聡議員(登壇)

ただいま議題となりました、議案第 42 号平成 26 年度美唄市一般会計補正予算(第 2 号)について、予算審査特別委員会の審査の経過並びに結果をご報告申し上げます。

経過といたしまして、本日 18 日、委員会を招集して審査をいたしました。

議案第 42 号にかかる質疑・答弁の主なものについて申し上げます。

初めに、平成 25 年度補正で創設された「がんばる地域交付金」が大きな財源として補正の背景にあると思うが、この交付金と地方交付税の考え方の違いについて、との質疑に対し、「がんばる地域交付金」については、国の景気対策の一環として、国が指定した追加公共事業等、事業の地方負担額をベースに算定され、国の直轄事業あるいは補助事業を実施しないと交付されないものであり、用途については、建設地方債の対象となる地方単独事業などと限られている。

これに対し、「地方交付税」については、国が一定のルールに基づいて算定される標準的な財政需要に対し、税などの標準的な一般財源の収入を差し引いた財源不足額に対して交付されるものであり、交付税は財源の調整機能を持っているというふうに言われている。

また、地方交付税については、用途が限定されない一般財源という違いがある、との答弁。

次に、保育施設整備事業について、HCC の建物を使うというのも重要なことではあるが、今まで平屋であった保育所が 3 階建ての建物になるということが、市民には違和感であり、階段や、緊急の脱出時に事故などが無いのか。道内の事例等、安心できる材料を示してほしい、との質疑に対し、説明会の中でも、その部分での危惧する声が聞かれ、そのために建物の規模、入所児数もほぼ同等の施設である石狩市の 3 階建の施設を視察してい

る。

また、改修についても、階段の幅や高さ、2 階と 3 階の交差が出来ないような形にする。防犯についてもセンサーやカメラを設置することを考えており、その部分も含め、保育所を通じて父母の皆様にも 12 月もしくは 1 月までに意見を募り、取り入れたいと考えている。との答弁。

次に、コールセンターオペレーター実践力養成事業について、来年 4 月に予定しているコールセンター事業について、予定している雇用形態と今後について、との質疑に対し、コールセンター事業を計画している日本コンセントリクス株式会社によると、雇用形態は契約社員とパートとなる予定であり、計画当初 10 名程度であった雇用予定者は、現在 5 名程度となっている。

また、今後については、事業の展開によっては雇用規模も拡大する可能性があることから、出来る限り多くの雇用を確保するため、日本コンセントリクス株式会社と協議していきたい、との答弁がありました。

結果といたしまして、議案第 42 号は、原案のとおり可決すべきものと決定いたしました。

本委員会の決定どおり、ご承認をいただきますようお願い申し上げます。報告を終わります。

●議長内馬場克康君 これより議案第 42 号について質疑を行います。

（「なし」と呼ぶ者あり）

これをもって質疑を終結いたします。

これより討論を行います。

（「なし」と呼ぶ者あり）

これをもって討論を終結いたします。

これより採決いたします。

本件は、委員長報告の通り決することにご異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

ご異議なしと認めます。

よって、**議案第 42 号平成 26 年度美唄市一般会計補正予算（第 2 号）**は委員長報告のとおり**決定**されました。

以上をもちまして、本臨時会に付議されました案件は議了いたしました。

これをもって平成 26 年第 2 回美唄市議会臨時会は閉会いたします。

午後 3 時 41 分 閉会

